



平成29年12月19日

各 位

会社名 株式会社 堀場製作所  
代表者名 代表取締役会長兼社長 堀場 厚  
(コード番号6856 東証第一部)  
問合せ先 財務本部 経理部長 多鹿 淳一  
(TEL. 075-313-8121)

## 特別損失（減損損失）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成29年12月期の決算において、下記の通り特別損失（減損損失）を計上する見込みとなりました。

これに伴い、直近の業績動向等も踏まえ、平成29年11月7日に公表した平成29年12月期の業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失（減損損失）の計上

当社は、英国の連結子会社であるHORIBA MIRA Ltd.（以下、ホリバMIRA社）の事業譲受時に発生したのれん及び無形固定資産について、英国の欧州連合離脱などホリバMIRA社を取り巻く事業環境が変化したことにより、ホリバMIRA社の業績が買収時の事業計画を下回って推移していることから、今後の計画の見直しを行い、減損損失約23億円を計上する見込みとなりました。

#### 2. 平成29年12月期通期連結業績予想の修正

|                              | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|------------------------------|---------|--------|--------|---------------------|----------------|
|                              | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円                 | 円 銭            |
| 前回発表予想 (A)<br>(平成29年11月7日発表) | 190,000 | 23,000 | 22,000 | 15,000              | 355.88         |
| 今回修正予想 (B)                   | 192,000 | 24,500 | 23,500 | 15,000              | 355.88         |
| 増減額 (B - A)                  | 2,000   | 1,500  | 1,500  | —                   | —              |
| 増減率 (%)                      | 1.1     | 6.5    | 6.8    | —                   | —              |
| 前期実績<br>(平成28年12月期)          | 170,093 | 18,499 | 18,279 | 12,962              | 307.74         |

### 3. 平成29年12月期セグメント別通期連結業績予想の修正

#### 売上高

|         | 前回予想<br>(11月7日<br>時点) | 今回予想<br>(12月19日<br>時点) | 差額    |
|---------|-----------------------|------------------------|-------|
|         | 百万円                   | 百万円                    | 百万円   |
| 自動車     | 71,000                | 72,000                 | 1,000 |
| 環境・プロセス | 17,000                | 17,000                 | —     |
| 医用      | 25,000                | 25,000                 | —     |
| 半導体     | 51,000                | 52,000                 | 1,000 |
| 科学      | 26,000                | 26,000                 | —     |
| 合計      | 190,000               | 192,000                | 2,000 |

#### 営業利益

|         | 前回予想<br>(11月7日<br>時点) | 今回予想<br>(12月19日<br>時点) | 差額    |
|---------|-----------------------|------------------------|-------|
|         | 百万円                   | 百万円                    | 百万円   |
| 自動車     | 5,700                 | 6,700                  | 1,000 |
| 環境・プロセス | 600                   | 600                    | —     |
| 医用      | 1,700                 | 1,700                  | —     |
| 半導体     | 14,500                | 15,000                 | 500   |
| 科学      | 500                   | 500                    | —     |
| 合計      | 23,000                | 24,500                 | 1,500 |

### 4. 修正の理由

排ガス規制の強化や半導体産業の投資拡大などにより、自動車計測システム機器部門及び半導体システム機器部門において、販売が堅調に推移していることなどから、売上高、営業利益及び経常利益は前回発表予想を上回る見込みとなりました。しかしながら、前述の特別損失（減損損失）が発生する見込みであるため、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、前回発表予想から修正はありません。

### 5. 配当予想

期末の配当予想につきましては、平成29年11月7日に公表した1株当たり95円（中間配当金40円、期末配当金55円）から変更はありません。

### 6. 自動車計測システム機器部門の今後の施策

自動車産業は今、車の電動化や自動運転の実現など、大きな転換点を迎えています。その中で、ホリバMIRA社の事業は当社が従来強みを持っていた排ガス計測事業中心のビジネスモデルを変革し、新たな領域に進出するために必須であり、その重要性は増していると考えられます。ホリバMIRA社が保有する電動化や自動運転等に関する技術開発ノウハウを、当社がグローバルに保有する事業基盤および顧客ネットワークと融合させることで、次世代自動車開発領域における当社の事業成長につなげていけるものと考えています。

（注）上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上